

市民とつながる

議会だより いちのせき

No.86 2026.8.1

CONTENTS

6月通常会議

- 話し合ったことズームアップ（議案審議）…… 4
- 一般質問 …………… 6

「巻頭特集」

語ろう市議会 ×

日本語支援ボランティア



「五」ろ市議会×日本語支援ボランティア

― 一関市国際交流協会が開いている海外出身者向けの日本語教室に、日本語支援ボランティア（日本語サポーター）として参加している倉持幸夫さん、佐藤明暉さん、畠山祐光さんと、同協会副会長の千葉博さんに活動への思いや市議会に期待することなどを聞きました。

― 活動内容は。

倉持さん 毎週土曜日の午後には海外出身者に日本語を教えるボランティアをしています。

佐藤さん 私も日本語教室で同じくボランティアをしています。

畠山さん 同様に日本語教室で教えています。

千葉さん 協会の副会長として教室の運営をしています。

― 教えている生徒さんは何人ほどか。

倉持さん 一般向けの教室と子供のための教室を担当しており、日本語検定と日本語能力試験（JLPT）を目標とされている人たちがいますが、平均で15〜16人ほどです。

畠山さん 子供の教室は4月からスタートして3回ほど行っていて人数

は3〜5人ほどです。最近はいンドネシア人が多く、他にはベトナム、ブラジル、アルゼンチン、中国の人もいます。

― ボランティアを始めたきっかけは。

倉持さん 仕事で中国に赴任した際、言葉ができなくて苦労したことから言葉は大切だと思っていました。そんなときに現地の人にお世話になったこともあり、日本にいる外国人が言葉で苦労しないように今度は自分が役に立ちたいと思いました。中国で親切にしてくれた人が「日本に留学しているときに地元の日本人に優しくされた経験があるので、その思いを返している」と話していたので、恩返しのようなことができれば社会が良くなるのではという気持ち

もあります。

佐藤さん 私は中国出身なので、日本に来たときは言葉ができずとても不安でした。今は一関に30年住んでいてたくさん日本語を勉強し、その知識で少しでも日本にきた外国人の不安を解消することができればいいなという思いで参加しています。

畠山さん 以前中学校の国語の教師をしていた経験があったので、教えることで外国人の子供や大人への力になれるといいなと思っていました。なかなかできずにいましたが、退職を機にやろうと決意しました。これまでやってきたことを地域や海外出身の人たちのために生かしたいと考えています。

― 受講後の生徒さんの様子は。

佐藤さん 技能実習生として来た人がJLPTに合格し、最初は4級、次には3級を目指すなど、会話力も上達しているように感じます。

― 海外出身者から気づかされたこと、教えられたことは。

倉持さん ベトナムの人たちが、自国の歴史について熱心に教えてくれることがあります。この時代はこう、ここでアメリカが入って来て、といったように。本当に勉強になります。

「日本に来た外国人の不安解消に役に立ちたい」

― 市議会に期待することは。

千葉さん 海外出身者向けのごみ出しのセミナーを市側でやっていただくことや、当協会の存在を住民に周知してもらうことを期待しています。

倉持さん 車を持っていないため移動が難しい人が多く、距離が離れていると来なくなってしまうケースがあることへの何らかの支援と、外国人の子供たちが学校で孤立しないようなサポートをお願いします。

佐藤さん 外国人が一関に来たときに相談ができる窓口などを増やせないかと思っています。放置やリサイクルの自転車が安く手に入ることも外国人は知らないと思うので、それをもっと知らせてほしいです。

畠山さん 今後、地域社会にとって外国人との共生が必要な中、支援だけでなく共生意識の共有や生活の指導なども考えると今の状況では限界があると思います。ただ、私たちの活動を高校生らが手伝ってくれることが増えてきて雰囲気明るくなっているし、世代交代という意味でもそれが希望になっています。

取材を終えて

外国から来た方々が安心して暮らせるよう、献身的に奉仕されていることに頭が下がる思いです。共に一関で暮らす仲間として何ができるのか、声をいち早くキャッチできるのがこうした活動をしている方々だと思います。一関市で暮らす人がみんな輝いて生活できるよう、議会も一緒に取り組まなければと思いました。



石黒委員 菅原委員

（広聴広報委員 菅原行奈、石黒一広）



一関市国際交流協会

令和2年に設立。外国人相談窓口をはじめ日本語教室、多文化理解講座、日本や海外の伝統・文化を紹介するイベント、災害から身を守るための研修などを展開し、市民と外国籍住民が安心して暮らせる環境づくりを支援している。日本語教室は毎週土曜日14時から、こどものための日本語教室は月2回土曜日15時30分から、なのはなプラザで開催している。

一関市大町4-29 なのはなプラザ4F ☎0191-34-4711

＞ 財産の取得

可決

* 議案第43～46号 財産の取得

消防団に配備している 消防車両などを更新

いずれも老朽化に伴い、消防団の消防ポンプ自動車2台を6,094万円、小型動力ポンプ積載車4台を4,114万円、大東学校給食センターに設置しているシステム食器類洗浄機等を3,520万円でそれぞれ取得するものです。また、図書館情報システム用機器の賃貸借契約が終了することから、新たに図書館情報システム用機器を2,471万円余りで取得します。

こんな質疑がありました

- Q. 更新対象となる非常備消防用消防車両の更新基準は。
- A. 配備後25年を目安とし、稼働状況、メーカーにおける部品の供給状況などを総合的に考慮し更新している。
- Q. 消防団員が減少している状況で、災害発生時に消防車両を運用できるのか。
- A. 災害発生時は消防団員が参集した時点で出動し、現場では他の消防団員と合流して活動していることから、現時点において車両運用に支障が生じる状況にはない。

＞ 条例改正

可決

* 議案第36号 市税条例の一部改正

* 議案第37号 手数料条例及び印鑑条例の一部改正

個人市民税に係る寄附金 税額控除の算定方法の見直し

議案第36号は地方税法等の一部改正に伴い、寄附金税額控除の算定方法の見直しなど、個人市民税及び固定資産税に関する規定を改正するものです。議案第37号は出入国管理及び難民認定法等の一部改正に伴い、手数料条例及び印鑑条例の一部を改正するもので、証明書コンビニ交付サービス、印鑑登録証明書などの交付申請において特定在留カードと特定特別永住者証明書を使用する方法が加わりました。

こんな質疑がありました

- Q. 特定在留カード、特定特別永住者証明書の取得は任意か。
- A. 従来のカード、証明書にマイナンバーカードとしての機能を付加し、一体化したものであり、取得は義務ではなく任意である。
- Q. 取得しない場合に不利益が生じることはないか。
- A. 特定在留カード等とマイナンバーカードを2枚所持するか、特定在留カード等の1枚を所持するかという違いによって行政サービスの利用に不利益が生じるものではない。

―― 表決が分かれた案件 ――

* 議案第37号 手数料条例及び印鑑条例の一部を改正する条例の制定

* 議案第38号 国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定

* 議案第39号 家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例及び特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定

会 派		清和会					一関みらい					輝郷会					日本共産党 一関市議団			公		無		決 議 結 果				
氏 名	門馬 功	皆川 千秋	那須 勇	佐藤 浩	菅原 行奈	千葉 ちあき	岩淵 典仁	千葉 誠	永澤 由利	佐藤 敬一郎	佐藤 幸淑	石黒 一広	千葉 信吉	藤代 崇	千葉 幸男	猪股 晃	森 英隆	岡田 もとみ	佐藤 真由美	千葉 栄生	齋藤 禎弘	岩淵 進治	佐藤 道雄		小野 寺道雄	沼倉 憲二	勝浦 伸行	
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○		○	○	議長	可 決
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○		○	○		可 決
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	可 決		

○=賛成 ×=反対 欠=欠席 ※公=公明いちのせき、無=無会派

6月通常会議で話し合ったこと

令和8年定例会第124回6月通常会議

6月16日～26日／会議期間11日間

会議では補正予算や財産の取得など議案23件を審議し、原案のとおり可決しました。

ズームアップ

＞ 補正予算

可決

* 議案第41号 令和8年度一般会計補正予算（第2号）

* 議案第48号 令和8年度一般会計補正予算（第3号）

市総合体育館の改修に4億1,800万円、 海外調査の経費に500万円を追加

一般会計補正予算は、第2号で5億7,974万円、第3号で500万円をそれぞれ歳入歳出に追加し、予算総額を783億1,362万円としました。

第2号では市総合体育館特定天井等改修事業費として4億1,800万円を計上しました。メインアリーナとサブアリーナを対象に、特定天井改修工事のほか照明のLED化、床の張り替え、空調設備の更新などを行います。19カ月ほどの工期が見込まれることから、令和8年度から10年度までの継続費を設定し、財源に生涯学習文化施設整備事業債を見込んでいます。

このほか、学校用コンピュータ整備事業費として8,100万円を計上しました。市内小中学校の学習用タブレットの更新費用として当初予算に計上していましたが、タブレット価格の高騰を受け増額します。

第3号では企画調査事務費として500万円を追加しました。台湾などからのインバウンド（訪日客）や企業の誘致を視野に入れた事業展開、外国人材の活躍に向けた取り組みの調査を行うため、海外調査などに係る経費を増額しました。

〈その他補正予算に計上した主な事業〉

主な事業	補正額（増額）
若者Uターン支援補助金	330万円
畜産環境対策総合支援事業費補助金	3,249万円
ECサイト構築事業費	2,137万円
防災対策費	578万円



改修工事が行われる一関ヒロセ
ユードームメインアリーナ

こんな質疑がありました

- Q. 一関ヒロセユードーム（市総合体育館）で開催されている大会やイベントの会場はどうなるのか。
- A. イベント主催者に別の会場を検討していただく。休館は11月からの予定で、10月までは利用可能。市主催イベントでは来年1月の二十歳のつどいをSWS東日本シビックホール一関（一関文化センター）で開くことが決定しているが、その他は検討中である。

こんな質疑がありました

- Q. タブレット端末の価格が高騰した主な要因は。
- A. 急激な円安による調達コストの上昇、部材の高騰による製造コスト全体の上昇、世界的な在庫不足による市場価格の上昇など。

こんな質疑がありました

- Q. 外国人材の活躍に向けた取り組みの調査とは。
- A. 技能実習制度は育成就労に切り替わるが、インドネシアの日本語学校では既に育成就労を目指して人材育成を行い日本に送り出している。市内の事業所と一緒に現地の日本語学校を訪問し、どういった方々がどのようなトレーニングを行っているかを調査したい。



岩渕 優 議員

いわぶち まさる



インフラの維持管理は

Q インフラが老朽化する中で、維持管理の担い手は不足している。この現状の克服のため国土交通省は、分野や自治体の枠を超え、効率的に対応する新手法^{*3}「地域インフラ群再生戦略マネジメント」を進めているが、この取り組みについて市長の見解を伺う。

A 国交省が推進する地域インフラ群再生戦略マネジメントは、複数の自治体や多様なインフラ資産を面的に捉え、効率的かつ持続可能な維持管理体制を構築するための有効な手法であると認識している。スケールメリットの創出、技術の共有化、業務の効率化を隣接する市町の枠組みで取り組むことが可能な分野があれば、協議をしていきたい。



改築作業中の道路

その他のQ&A

○市公共施設等総合管理計画 第1期中期計画の取り組み





佐藤真由美 議員

さとう まゆみ



憲法・民主主義を暮らしに

Q 世界では大国の無法・力の支配により戦争が勃発し、多くの人々が犠牲になっている。その中で日本政府は数の力で憲法を改正しようとしている。市長の見解は。また、核兵器禁止条約参加を政府に働きかける考えはないか伺う。

A 戦争の惨禍を再び繰り返さないとの固い決意の下制定され、国民主権、基本的人権の尊重、平和主義という普遍的価値を基礎としている憲法の理念は、市民生活の安定と発展に不可欠なものと認識している。国民一人一人が十分な情報に基づき、冷静・慎重に議論を深めることが重要である。核兵器禁止条約に署名・批准するよう^{*2}平和首長会議を通じて今後も働きかけていく。



戦争はイヤだ、平和が1番！

その他のQ&A

○鳥獣被害深刻、対策急げ
○危険木の早期伐採を





森 英隆 議員

もり ひでたか



駅東口工場跡地の整備は

Q 再検討期間終了後、民間の関与が期待できない場合の市の対応は。

A 市が事業を直接行うとした場合、事業手法や事業費など利活用を進めるためにどのような手法が成り立つか、財源の見通しを含めて庁内で検討を進めている。

Q 土地利用の計画を進めるに当たり、東西の回遊性や市街地全体への波及を含めた計画に変更する考えは。

A 事業者公募の際にJ R ーノ関駅周辺地区全体の活性化・賑わい創出を図ることを目的とした提案に期待していた。土地利用の効果駅西側の中心市街地を含めた市内全域に波及させることが必要という考え方に変わりはなく、再検討を進める上でも基本的な方針としていく。



一ノ関駅東口工場跡地の様子

その他のQ&A

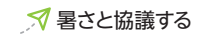
○千蔵地域の公共施設





千葉 誠 議員

ちば まこと



若者・女性に選ばれるまち

Q ^{*1}人口戦略会議の分析結果を踏まえ、一関市が若者や女性、子育て世代に選ばれるまちとなるため、若年女性の流出要因分析と施策効果の検証、日常的に人が集い交流が生まれる公共空間整備など都市政策の在り方、外部人材や有利な財源の活用、若者らの声の反映について市の考えを伺う。

A 人口減少を市の最大かつ最優先の課題と位置付け、減少速度を緩やかにしながら人口が減っても地域の活力を維持し、暮らしやすいまちを目指していく。若者や女性に選ばれるまちに向け、J R ーノ関駅周辺の都市機能集積や東西回遊性の向上、公共空間の活用、意見反映に取り組む。



若い世代が集う未来の一関へ

その他のQ&A

○大型公共工事における地元企業参画の推進





那須 勇 議員

なす いさむ



学校給食無償化の考えは

Q 市長は学校給食の無償化について、子育て支援と少子化対策の観点からどのような認識を持っているか。

A 子育て支援を図る上で、子育てに伴う経済的負担を軽減するという点では一定の役割を果たす政策であると捉えている。

Q 負担軽減の対象外である中学校給食費について、市として独自支援を行う考えはあるか。また、将来的な小中学校給食費の完全無償化に向けた検討状況は。

A 中学校への対象拡大は課題を整理した上で検討する。全国市長会と県市長会を通じて、国に対して早期の制度創設について要望しているところであり、今後の国の動向を注視したい。



「学校給食費の抜本的な負担軽減」がスタート

その他のQ&A

- 自然災害など有事の際の危機管理体制
- クマ出没時における情報伝達体制の課題
- 地域の実情に合った地域別危機管理体制の構築
- 道の駅だいの防災機能の強化



第124回 6月通常会議



一般質問は6月18、19、22日の3日間で19人の議員が登壇し、活発な議論を展開しました。

(文責は各議員)

登壇議員		ページ
那須 勇	議員	6
千葉 誠	議員	6
森 英隆	議員	7
佐藤真由美	議員	7
岩渕 優	議員	7
小野寺道雄	議員	8
菅原 行奈	議員	8
永澤 由利	議員	8
藤代 崇	議員	9
齋藤 禎弘	議員	9
佐藤 進治	議員	9
皆川 千秋	議員	10
佐藤 幸淑	議員	10
猪股 晃	議員	10
千葉 栄生	議員	11
千葉ちあき	議員	11
佐藤敬一郎	議員	11
岡田もとみ	議員	12
岩渕 典仁	議員	12

議員の素顔をお見せします
#ひとつこと

今回のテーマは… #私の暑さ対策

*3 地域インフラ群再生戦略マネジメント

技術系職員の数に限られる中、複数自治体や複数分野のインフラを「群」として捉えて効率的・効果的にメンテナンスしていく取り組み。

*2 平和首長会議

反核運動を促進する世界の地方自治体で構成する国際機構。核兵器のない平和な世界の実現に向けた大きな潮流をつくるため、加盟都市拡大に取り組んでいる。

*1 人口戦略会議

日本の急速な人口減少・少子化に危機感を持つ有識者が個人の立場で集まり、長期的な人口ビジョンや必要な政策を政府・社会に提言する民間研究組織。

佐藤進治 議員
さとう しんじ

とにかく水分補給

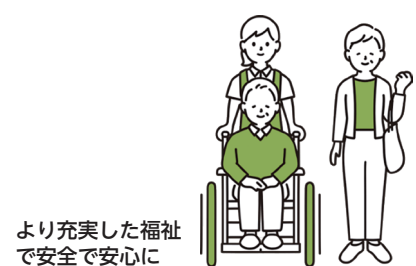
社会的弱者の支援政策は

Q 県は犯罪被害者等支援条例の制定を各市町村に働きかけており、被害者らの日常生活を取り戻すためのものであることから、市も一刻も早い本条例の制定を目指すべきではないか。

A 条例を制定している他市町村の事例を参考にしながら、本年度内の条例制定に向けて調査検討を進めている。

Q ^{*6} 令和8年度までの成年後見制度利用促進計画の進捗状況と、令和9年度以降の本制度の取り組みを伺う。

A 利用促進に向け、成年後見支援センターを設置し、制度の広報・啓発のための研修会、講演会を開催した。課題については次期計画において継続して取り組む。



その他のQ&A

○身寄りのない高齢者等の終活支援

齋藤禎弘 議員
さいとう よしひろ

毎食のごはん

駅東口工場跡地開発は

Q J Rーノ関駅東口工場跡地開発にかかる事業者の公募を中止した理由は。

A 事業者の提案が市の公募要件に合致しないため、再検討の期間を確保することが望ましいと判断した。

Q 今後のスケジュールは。

A 現時点では示せない。

Q 取得費用の22億8,800万円があれば国保減免や市民の支援もできる。利活用策がないまま取得を先行させた結果、取得を目前にしながら、利活用策が定まらないという事態に陥った。市長の責任は重大では。

A 工場跡地の利活用策は市にとって重大事項。また、市民生活を取り巻く課題も多くあり、その両方に向き合うことが私どもの責任だ。



その他のQ&A

○中小事業者支援
○国民健康保険税の引下げ

藤代 崇 議員
ふじしろ たかし

涼しげな風鈴

観光振興を

Q ^{*5} 1300年以上の歴史を誇る室根神社特別大祭や天下の奇祭大東大原水かけ祭りなど、外国人に魅力的に映る伝統的な行事を活用した誘客促進についてどのような取り組みをしているのか。

A 歴史的、文化的価値が高い伝統行事を国内外からの誘客促進に資する重要な観光資源として位置付け、ツアーの造成を行っている。室根神社特別大祭では台湾の個人旅行客をターゲットとしたツアーを、大東大原水かけ祭りではせんまやひなまつりと組み合わせたツアーを市観光協会が実施してきた。また、台湾のケーブルテレビ局を招聘し、台湾のテレビ番組を通じて観光資源の魅力発信に取り組んできた。



その他のQ&A

○市、観光協会、DMO、いちのせきニューツーリズムの役割分担は
○二次交通の現状は
○近隣自治体との広域連携は

永澤由利 議員
ながさわ ゆり

山を見て心涼しく

千厩アイスアリーナ再開は

Q 千厩アイスアリーナは、不凍液漏えいにより、リンク機能に支障が生じ、約2年間にわたり休止している。調査の進捗状況の説明がされているが、施設の今後の方向性や再開に向けた考え方は示されていない。見解を伺う。

A 特殊な配管構造であること、施設内に残存の不凍液があることに加え、施設全体の老朽化も進んでおり、今後改修の必要な箇所が次々と出てくることが想定される。費用なども考慮した上でさまざまな視点から総合的に検討しなければならない。千厩地域の他の地区からの意見などの確認も必要と考えており、それらの意見も含め総合的に検討していく。



その他のQ&A

○地域防災力の向上と自主防災組織支援

菅原行奈 議員
すがわら あんな

冷房、帽子、直射回避など

狛鼻溪駅階段問題どうする

Q J R 狛鼻溪駅は観光の玄関口でありながらホームには急な階段のみしかなく、インバウンドや高齢者、ベビーカー利用者にとって危険で不便な状況にある。利用者増加を踏まえ、市はこの課題をどう認識し、スロープ整備やJ Rとの連携をどう進めるのか。

A 市も階段利用の負担や危険性は認識しているが、駅施設はJ R東日本の管理であり整備は同社の判断による。現時点でスロープ整備の具体的な計画はなく、市は要望を伝えている段階であり、費用負担などの検討には至っていない。



その他のQ&A

○公園利用の多様化
○市街地カラスのふん害対策

小野寺道雄 議員
おのでら みちお

木陰で涼を取る

^{*4} **一関遊水地営農の課題**

Q 洪水貯留後に発生した災害復旧と堆積した土砂や流木などの処理について伺う。

A 遊水地内の洪水貯留機能や施設機能を早期に復旧するため、公共土木施設災害復旧事業として遊水地の管理者である国が実施する。

Q 洪水貯留後に農地がダメージを受け、営農再開には土壌改良などの必要性も想定されるが対策は。

A 農作物の作付けができなくなった場合、土の入れ替えを行う。

Q 遊水地は二線堤方式の大規模な人工の構造物である。平時においても恒常的な維持管理費が必要と考えるが、いかがか。

A 国では良好に施設を維持するため、必要な予算の確保に努めている。



その他のQ&A

○国勢調査速報値の認識
○人口減少対策の課題

***6 成年後見制度**

認知症や知的障害などで判断能力が不十分な人の財産管理や契約行為を、家庭裁判所が選んだ後見人などが代理・支援し、不利益な取引から保護する仕組み。

***5 室根神社特別大祭**

熊野神勸請の故事になぞらえ、旧暦うるう年の翌年秋に開催される東北の三大荒祭りの一つ。「室根神社祭のまつりバ行事」は国の重要無形民俗文化財。

***4 一関遊水地**

一関市と平泉町にまたがる洪水調整施設。川からあふれた水を北上川沿いの農地に一時的にためることで市街地や下流域の被害を防ぐ。

二次元コードを読み取ると、各議員の一般質問の様子をご覧になれます！



佐藤 敬一郎 議員
さとう けいいちろう

水分補給

***10 花泉互市の活性化策は**

Q 花泉互市は出店業者数が年々減少し、地域住民に親しまれてきた地域のにぎわいを創出する機会が失われている。交流人口拡大や若い人たちと連携する考えはないか伺う。

A 花泉互市は民間団体が運営し、市は運営費を補助しており、多世代が楽しめる催しの充実により商店街のにぎわい創出と交流人口の拡大を目指している。



花泉互市の活性化を

Q 災害時に不可欠な地元建設業者の減少を防ぎ、市民の生命と財産を守るための維持・確保策について伺う。

A 地元建設業者は災害時の初動対応や道路被害などの調査を担い、市民の生命と生活を守る重要な存在である。業者数の減少は現行の防災体制の維持を困難にするため強い危機感を持っている。

その他のQ&A

- 地域建設業の維持と災害対応体制は
- 所有者不明土地への対応は



千葉 ちあき 議員
ちば ちあき

毎日発酵食品を食べる!

教育デジタル化の在り方は

Q 教育のデジタル化の効果検証が不十分なまま導入が進むことにどのような問題意識を持っているのか。

A デジタル教科書や教材の活用を自己目的化するのではなく、児童生徒一人一人の学びを充実させることが重要な目的である。

Q 運用や効果検証に関する最終的な責任主体と、学校・教育委員会・家庭の役割分担は。

A 教育委員会は市全体の状況を分析して課題を明らかにし、改善方策を各学校へ示す。各学校は分析結果を基に、児童生徒の実態を踏まえて課題を把握し指導改善に取り組む。家庭は学校と連携し、心身の健康管理や学習・生活習慣に関するルールづくりを行うことが重要となっていくと考える。

学校で保管される1人1台タブレット端末



その他のQ&A

- 発達段階・教科特性を踏まえた運用は
- タブレット端末の使用状況は
- 長時間使用による影響認識は
- 海外の教育動向の把握



千葉 栄生 議員
ちば えいぎ

冷感インナー着用

県立附属中学校にも給食を

Q 県立附属中学校への給食提供のため、市学校給食センターの活用を含め、県との情報共有や協議の現状は。

A 県立附属中学校は県の所管であること、学校給食の提供は学校設置者である県が判断するものであることから、市教育委員会としては答える立場にはない。現在、県立附属中学校からの申し入れもない。県立附属中学校の施設設備に課題があると聞いていることから、今後申し入れや相談があれば検討していく。

Q 県に給食提供を働きかける考えはないか。

A 市から県に働きかけるといよりは、県からの申し入れを受け入れる体制を整えておきたい。



市内で提供されている学校給食

その他のQ&A

- 畜産振興と自給飼料の生産向上
- 犯罪被害者等支援



猪股 晃 議員
いのまた あきら

早朝の農作業

***8 中山間地域等直接支払制度**

Q 制度の5期対策と6期対策の比較で、取り組み協定数や面積の変化とその要因をどのように分析しているか。

A 対策の節目となる令和6年度と令和7年度比較では、協定数は290協定から244協定(46協定減)、面積は8,354㌥から6,345㌥(2,009㌥減)となっており、リーダーの不足や高齢化の進行、交付要件への対応が難しいことなどが要因と捉えている。

Q 制度内容の変更について、集落機能強化加算の復活や重要文化的景観に選定されている本寺地域への加算の創設など、国に働きかけてはどうか。

A 国の制度の動向を注視するとともに、制度の見直しが行われる場合は改善すべき事項について県を通じて国へ要望する。



農村環境が維持されている中山間地

その他のQ&A

- 移住・定住対策



佐藤 幸淑 議員
さとう ゆきとし

お風呂後の水浴び

スクールバスの運行支援は

Q スクールバス運行に関して市教育委員会として現状の課題認識は。

A 近年の子供の徒歩習慣の減少や保護者の通学に対する考え方の変化があり、運行基準について丁寧な説明をしていく必要がある。

Q スクールバス運行対象区域の見直しの考えは。

A 対象とする通学距離のさなる見直しは、現時点で予定はない。

Q 通学困難の基準を新たに設ける考えは。

A 現に児童生徒が登校している現状にあり、通学が困難な地域が存在するとは捉えていない。



格差のない通学支援を望む

その他のQ&A

- 遠距離通学費補助金についての課題と見直しの考えは
- 窓口業務における電子決済導入への対応は



皆川 千秋 議員
みながわ ちあき

梅干し

効率的・効果的な空き家対策を

Q 所有者へ届く納税通知書の発送機会を最大限に生かすため、同封する空き家啓発チラシは支援事業の網羅や見やすさの工夫など、相談に結び付く内容へ刷新すべきでは。

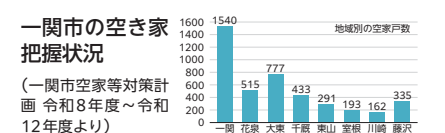
A 今後は内容を充実させ、二次元コードの活用などで必要な情報にアクセスしやすくする。

Q 無料で集客力のある「全国版空き家空き地バンク」には県内多くの自治体が参画しているが、本市は未参画である。全国への発信力を高めるため参画すべきでは。

A 早期参画を目指して必要な手続きを進める。

Q 分散している相談窓口を一元化し、利用者が迷わないワンストップ窓口にするべきでは。

A 窓口は生活環境課に一元化している。誤解を招くホームページの案内は修正する。



その他のQ&A

- 軽救急車導入への見解
- 救急体制の強化・拡充



*10 花泉互市

藩政時代に長禅寺(花泉町涌津)参道で開かれていた物々交換の師走市が起源とされる。昭和50年から花泉中央振興商店街協同組合が主催し、毎年春と秋の年2回開催。

*9 デジタル教科書

紙の教科書を電子化し、パソコンやタブレット端末で使用する。デジタル機能の活用で学習理解が深まるという利点の一方、通信環境や視力低下などの課題も指摘されている。

*8 中山間地域等直接支払制度

生産条件が不利な中山間地域で農業を営む農業者に交付金を支給する制度。集落などを単位とする協定を締結し、それに従って農業生産活動を行う農業者に面積に応じて交付される。

*7 全国版空き家空き地バンク

自治体が把握する空き家・空き地情報を集約し、自治体を横断して簡単に検索できるようにすることでマッチングを支援する国土交通省主導のシステム。

常任委員会行政視察報告

議員は総務、産業建設、教育民生のいずれかの常任委員会に所属し、分野ごとに議案や請願などの調査、審査をしています。また、各会派からの選任で広聴広報委員会を構成しています。最近の視察活動をお知らせします。

総務 常任委員会

5月20日～22日

調査事項

- 福井県福井市「財産有効活用民間提案制度について」
- 富山県富山市「シティブロモーション推進事業について」
- 富山県射水市「公共交通について」

総務施策に関する先進地として福井市、富山市、射水市を視察しました。このうち射水市では、地域公共交通計画の基本理念として「地域のくらし・にぎわい・交流をはぐくむ持続可能な公共交通の実現」を掲げ、①まちづくりと連携した公共交通網の整備②交通DXによる持続可能な仕組みづくり③暮らしを支え利用を促す交通機関の充実④の3方針に基づき施策を推進していました。

持続可能な地域公共交通とは

従来型のコミュニティバスやデマンドタクシーに加え、A-I



射水市での視察

射水市では、導入段階から事業者との調整を重ね、タクシー事業者がオンデマンド交通運行を担う形を構築している点は、地域交通維持のための現実的な手法として参考になりました。

産業建設 常任委員会

5月20日～22日

調査事項

- 和歌山県有田市「農業次世代人材投資事業（AGRI-LINK IN ARIDA）について」
- 和歌山県田辺市「ICTを活用した低コスト林業の取り組みについて」
- 和歌山県御坊市「スケートパーク活用事業について」

産業建設施策に関する先進地として和歌山県の3自治体を視察しました。このうち、田辺市は民有林面積のうち68%が人工造林地であり「紀州材」と呼ばれるブランド材を産出してきましたが、木材価格の低迷により素材生産量が低下し、地域への原木供給量確保が課題になっていました。そこでDEMデータなどの情報を生かしICTによる解析を行うことで、森林施策に係る調査設計コストを低減させるモデル事業を実施。

林業のICT活用による成果は

田辺市役所直営の現場をモデル



田辺市での視察

先進地としての状況を伺い、市、DMO、観光協会、観光事業者が密に連携を取ることが重要であるとともに、連携を深化させ一体となって取り組むことが必要だと感じました。

教育民生 常任委員会

5月18日～20日

調査事項

- 埼玉県川口市「学びの多様な学校について」
- 神奈川県大和市「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施について」
- 東京都品川区「朝の児童の居場所確保事業について」
- 栃木県小山市「市と小山高専の連携による空き家バンクについて」

教育民生施策に関する先進地として四つの自治体を訪問しました。このうち、小山市では小山高専との連携に至った経緯やその効果などの説明を受けました。小山市と小山高専は平成24年に連携協定を結び、空き家バンクの連携は小山高専建築学科の学生からの提案で実現したものでした。

市と高専の連携による空き家バンクに注目

小山市の空き家バンクの取り組みは、学生が事前打ち合わせから参加し、9月～10月に現地調査、翌年3月に物件をホームページに掲載します。調査は空き家の利



小山市での視察

活用調査（所有者同意）で、市職員が同行して学生4～5名が参加します。掲載するのは画像や状態についてのコメント、利活用の提案など。小山高専とのコラボ物件は毎年度3件ほどあるそうです。小山市の空き家バンクホームページは「楽しさ」をテーマに写真やイラストを多用し、見る人を引き込む工夫がされていますが、一関市の空き家バンクホームページは不動産業者のページを見ているようで魅力に欠けると思われ、空き家の状況を伝える工夫をしてほしいと感じました。

広聴広報 委員会

4月23日、24日

調査事項

- 福島県喜多方市議会
- 福島県会津若松市議会
- 「市民と議員の懇談会について」「議会広報について」

広聴広報施策に関する先進地として喜多方市、会津若松市の両市議会を視察しました。このうち、会津若松市議会では市民との意見交換会を地区別と分野別で開催しており、地区別は市内15地区でそれぞれテーマを決めて年2回、5班編成で開催し、分野別は各常任委員会が政策立案や団体などの要請に応じて開催しています。

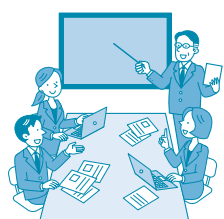
市民の意見、どう生かす

市民から出された意見や要望に対しては、常任委員会などで検討を行い、市の対応状況も踏まえ、進捗（しんちょく）の意見交換会や



会津若松市での視察

議会だよりで報告しています。市民の声が議会に伝わり、課題解決に向けた政策につながっていく取り組みが参考になりました。一関市議会広聴広報委員会では、市民と議員の懇談会を議員全員が4班編成で開催しています。近年は対象団体とテーマを決めて開催してきましたが、今年からはより細かな地域を対象として、地域課題をテーマに誰でも参加できる懇談会を開催する予定にしています。





私たちが生きる町は 私たちが創る

とくなが
徳永こはくさん（東山町）

数年前に帰ってきた故郷は、子供の頃に見ていた景色とは違いました。増える休耕田やシャッター商店街、進む少子化、この地を去る若者、教育と文化資本の乏しさ、所得の低さなど諸問題を感じながら生きています。生きることについて精いっぱい私たちは社会に目を向ける余力がありません。しかし、誰が生きる町なののでしょうか？ 一番身近な市政にまず目を向けてみませんか？ 課題や取り組みに目を向けてみませんか？ 私は小さなことから社会を変えたいと、ろうそくの火のように小さく願い、この一関で生きてみることにします。

市民の



日々の暮らしで思うこと
まちづくりに期待することなど
市民の声を聞きました

価値ある農村風景 守っていきたい

さとうすむ
佐藤勸さん（花泉町老松）



「あー、こんなに広い空を見たのは久しぶりだ」。東京で1人暮らしを始めた長男がゴールデンウィークで帰省した際、駅へ迎えに行った車中での言葉に、自分たちが住んでいる地域の風景、自然は何物にも代え難いのだと再認識しました。岩手県にはおいしい食べ物がたくさんあります。親切な人、おせっかいな人もたくさんいます。みんないい人ですが、もう少しがめつくてもいいと思います。物の価値だけでなく「コト」の価値もたくさんあり、この価値ある農村風景を守っていければと感じた長男との会話でした。

次の通常会議の予定は
9/1 火 ~ 29 火

会議日程はホームページをご覧ください。詳しくは議会事務局（☎② 8604）までお問い合わせください。

議会を傍聴してみませんか

実際に議場に足を運んで、生の議会をご覧になってみませんか。お気軽にお越しください。

インターネットで生中継

議会（本会議）の様態をライブ配信しています。議会のホームページからアクセスしてください。

🔍 一関市議会



今号の



北上川で白熱レース Eボート大会

北上大橋付近の北上川で毎年9月に開かれる北上川流域交流Eボート大会。川と親しみ、交流促進や地域活性化につなげようと続けられています。

イラストレーター：有華（市内在住）



待受画像
ダウンロード



編集後記

物価高や人口減少など地域を取り巻く課題が顕著になっている一方、一関市では地域活動や学校行事などを通じ、人と人とのつながりの大切さを改めて感じる場面が多くあります。広聴広報委員会として、市議会での議論や取り組みをより分かりやすく市民の皆さまにお伝えし、身近に感じていただける「議会だより」を目指しております。これからも皆さまのお役に立てる情報発信に努めてまいります。（委員 千葉誠）

広聴広報
委員会

【委員長】	猪股 晃	【副委員長】	菅原 行奈
【委員】	千葉あき 千葉 誠	皆川 千秋 石黒 一広	森 英隆 佐藤真由美